

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立すこやかプラザ	施設所管課	こども青少年局 こども福祉課
施設住所	尼崎七松町1丁目3番1-502号	竣工	H12.6(築満22年)
設置目的	少子・高齢化社会において、市民がお互いに支え合いながら安心して健やかに暮らせる地域社会の形成に資することを目的とする。		
主な事業内容	子育て支援コーナー(PAL)、多目的ホールの貸出、一時預かり事業(とんとん)、子育て支援や高齢者支援などに関する講座やイベントを実施している。		
指定管理者名	特定非営利活動法人 子どものみらい尼崎	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 □団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 すこやかプラザ利用者数及び満足度の割合の増加を図る。

実施結果
 工事により面積が減少した後もPALのレイアウトを工夫する等、利用者の満足に努め、目標値を大きく上回る結果となった。(指標①)
 保健所増設工事期間の多目的ホールの利用縮小など影響を受けたが、PALや事業等、コロナ禍の影響が弱まるにつれ利用人数が持ち直し、目標を達成するに至った。(指標②)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：満足度(単位:%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	79%				
実績	-	-	-	-	-	-	90%				
達成度	-	-	-	-	-	-	114%				
評価	-	-	-	-	-	-	◎				
指標②：利用者数(単位:人)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	30,853	37,020	46,863				
実績	-	-	-	-	31,653	45,853	48,039				
達成度	-	-	-	-	103%	124%	103%				
評価	-	-	-	-	○	◎	◎				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している。○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 適正な人員配置を行うとともに、スタッフミーティング・所内会議・接遇研修を行うことで利用者の満足度の向上につなげていく

実施結果及び評価
 限られた人員で市民サービスを維持・向上するため、スタッフへの研修、PALや一時預かりルームごとに毎日行ったり回りのミーティングを継続しているため、評価できる。 ○

市民サービスが◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 施設の保守点検を行うとともに、日頃から、裏紙の再利用・廃材の利用など環境へ配慮した取り組みや経費削減に取り組む

実施結果及び評価
 保守点検や裏紙の再利用・廃材の利用等を継続して行うとともに、可能な限り電気代を節約する等努力が評価できる。また、サニタリーBOXとは別に子どものおむつを捨てられるBOXを設置する等、利用者の声を反映させる取組も行っている。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているもまではいけない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入			支出			
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	53,986,000	53,986,000	人件費	33,324,000	33,372,972	-48,972
補助金	0	843,000	報償費	930,000	987,660	-57,660
			旅費	5,000	0	5,000
			需用費	4,009,000	5,256,132	-1,247,132
			備品購入費	149,000	825,182	-676,182
			役務費	3,043,000	2,588,489	454,511
			委託料	4,408,000	5,102,613	-694,613
			使用料及び賃借料	314,000	379,755	-65,755
			負担金	7,804,000	7,741,940	62,060
収入計	53,986,000	54,829,000	支出計	53,986,000	56,254,743	-2,268,743

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	利用者に寄り添った支援とともに地域社会とのつながりづくりを強化していく取組姿勢があり、すこやかプラザにより一層求められる本市の子育て支援活動の拠点としての機能の充実に期待できる
指定管理者自身が設定した目標	すこやかプラザの管理運営を通じて、尼崎市のすべての子どもが健やかに育つ社会の実現に寄与し、「支えあいの地域づくり」を推進する。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	親子や高齢者などがつどう場の提供やホールの貸室業務を通して様々な世帯に喜びを感じてもらい、情報の提供や講座・イベントを通して、人々が安心して暮らし、人とのつながりが感じられるようにする。							
目標指標	指標	利用者数の増加(単位:人)						
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価	
	目標値	46,863					PALや事業の人数等、コロナ禍の影響が弱まるにつれ持ち直しており、目標値を達成した。	
	実績値	48,039						

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条約の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
施設の経営状況	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か		適正
危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行ったか	年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築
 特に保健所増設工事の期間中、随時報告・連絡・相談を互いに行い、信頼関係が深まった。
 協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 互いに報告・相談を行い、他課との共催による高齢者支援のさらなる充実、また面積減少後の施設の活用方法等工夫を行うことができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)
 保健所の工事による面積減少後PALのレイアウトを工夫する、ランチスペースを設置する、調乳ボットを設置する等、利用者のニーズに応えていけるよう取り組んだ。高齢者福祉の資格を持つ職員のスキルアップは継続しており、約50人からなるサポーターの活動もコロナ禍の影響が弱まったタイミングで通常時の範囲に戻っており、利用者との直接の関わりも増えているため、施設の幅広い設置目的を果たす努力を行っている。一方で保健師との連携等には課題があり、定期的な利用者の問題の早期発見を行えるすこやかプラザの強みを活かしていきたい場合がある。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)
 コロナ禍の影響度合いを考慮しPALの1日3部に分けた利用制を解除する、zoom会議にも対応できるよう多目的ホールにWi-Fiを設置する等、状況に応じた判断を行うことにより利用者のニーズに応えられている。施設の設置目的を果たすため指定管理者は努力を継続しているが、すこやかプラザの行う事業の開催目的が他課から正しく認識されず、他課から案内され参加した市民に不便をおかけする事態が生じる等の問題が見受けられるため、関係機関との連携という観点からも、すこやかプラザと連携先の機関との会議の場を設ける等対策を検討する必要がある。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)
 工事による面積減少や新型コロナウイルスの影響下での運営等のレギュラーな状況で取組等を工夫し、利用者の満足に努めており、高齢者支援・世代間交流事業の拡充も継続しており、施設の設置目的を果たすよう尽力している。今後それらを継続していくとともに、関係機関との連携がスムーズに行えるよう会議の場を設ける等、子育てに関する施設として問題の早期発見ができるよう体制を整えていくことが必要である。

有効性

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市尼崎学園	施設所管課	こども青少年局 いくしあ推進課
施設住所	神戸市北区道場町塩田3083番地	竣工	平成25年度建替え(築満9年)
設置目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)の規定による児童養護施設として設置		
主な事業内容	児童福祉法に基づく児童養護施設として、乳児を除く、保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を要する児童を養護するとともに児童の自立を支援する。		
指定管理者名	社会福祉法人 尼崎市社会福祉事業団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 事業計画書に示された事業の実施を適切に行う(児童の安全確保、実習生の受入、相談体制の構築、児童からの意見提案の対応、地域住民との連携、児童への心のケアの継続実施等)

実施結果
 児童の安全確保が適切に行われ、事故等の問題も発生していない。実習生受入れも積極的に実施できている。児童からの意見提案の対応のため、施設内に意見箱を設置したり、ユニット会議を開催し、定期的な意見聴取を行っている。しかし、アンケートの結果は「施設に対する満足度」は76%で、目標の80%には届かなかった。(指標①)また職員へは「人権擁護のためのチェックリスト」を活用して、児童の人権擁護と人権侵害の防止に取り組んでいる。(指標②)今後も、コミュニケーションを密に取りながら、より良い施設運営に努めていく。

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：入所児童の施設に対する満足度80%以上(単位:%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	80%	80%	80%	80%	80%	80%	80%
実績	-	-	-	-	82%	79%	76%				
達成度	-	-	-	-	-	-	95%				
評価	-	-	-	-	-	-	○				
指標②：入所児童に対する心のケアが適切に行われ自立に向けた支援を行ったか。(対処/事業100%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	100%	100%	100%	100%	100%
実績	-	-	-	-	-	-	99%				
達成度	-	-	-	-	-	-	99%				
評価	-	-	-	-	-	-	○				

◎目標を大きく上回った/上取値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 適正な収支バランスで施設を管理運営する。収支報告を適正に行う。法定点検等、施設維持管理を行う上での最低基準の遵守。必要となる専門職種の確保と適正な職員配置を行う。定期的な内部研修を実施する。

実施結果及び評価
 適正な収支バランスで学園の管理運営が行われている。年間を通じて園内研修が実施され、職員の資質向上を図れている。7ユニット(幼児ユニットを含む)それぞれに複数の指導員が配置され、臨床心理士、栄養士、調理員等の専門職員も適正人数が配置されている。 ○

◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 施設の保守・保全・点検を適正に実施する。保守点検の業務委託は適正水準で実施。

実施結果及び評価
 これまでの協定書(仕様書)には建築基準法第12条に基づく点検、フロン点検について記載がなかったため、今年度から記載し、実施した。しかし、フロン点検については簡易点検の様式を正しく理解することができず、不備があり、是正指示を受けたため年度内に対応したところである。 △

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
管理運営事業費	205,259,000	207,321,280	-2,062,280	人件費	166,784,000	154,480,992	12,303,008
事務局間接費	8,356,000	8,356,000	0	維持管理事業費	14,922,000	14,783,060	138,940
補助金	2,683,000	6,478,014	-3,795,014	運営事業費	39,354,000	31,491,323	7,862,677
				事務局間接費	8,356,000	11,356,000	-3,000,000
収入計	216,298,000	222,155,294	-5,857,294	支出計	229,416,000	212,111,375	17,304,625

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	保護者のいない児童や虐待を受けている児童、その他環境上養護を必要とする児童の養護や、その児童の自立への支援を達成するための十分な能力を有していること。
指定管理者自身が設定した目標	入所児童が朗らかな家庭の雰囲気で、心身ともに健やかに育ち、社会の一員としての責任を自主的に果たすことができるように導く。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	児童福祉法に基づく児童養護施設として、措置された児童を自立させて、社会生活に柔軟に対応できるような環境づくりを図る。						
目標指標	指標	入所児童の施設に対する満足度80%以上					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80	児童一人ひとりに丁寧に対応できているが、目標達成には至らなかった。
	実績値	0.76					

有効性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	要改善
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	要改善
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとりに業務を行ったか		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築
 今年度から所管課が変更したため、5回の实地調査に加えて、毎月提出される月次報告書をもとに、適宜必要に応じて情報交換並びに意見交換を行い、信頼関係を深めることができた。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 社会的養護を必要としている児童一人ひとりに対して、きめ細やかな支援が実現できるように、児童からの声(アンケートや子どもの意見表明支援事業)を指定管理者と共有し、適切に対応することができた。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)
 今年度も新型コロナウイルスの影響により各種事業の変更を余儀なくされたが、このような状況であるがゆえに施設内でのレクリエーション活動を重視し、入所児童と施設職員とのコミュニケーション活動を重視した。処遇困難事例の対応や里親の開拓、支援のための職員の配置に係る人件費増を求める。(兵庫県下、里親支援専門職員26施設中16施設配置、自立支援担当職員20施設中9施設配置)(国庫負担10割で対応。)また、入所児童の年齢構成の変化、成育歴の多様化等に対応するため、施設の機能及び定員の見直しが必要である。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)
 児童の思いに寄り添った支援が行われ、指定管理業務は適切に遂行されているものの、年度目標(入所児童の施設に対する満足度80%以上)はわずかに達成できなかったため、満足度の向上に向けてさらに取り組みを進めてもらいたい。また、今後も施設目標の達成に向けて、子どもファーストな視点で、児童一人ひとりに丁寧に対応し、児童の自立を支援していただきたい。なお、ハード面については、監査等で指摘された点についてひとつひとつ改善しているところであり、今後も市とコミュニケーションを密にとりながら、適切な施設管理に努めていただきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)
 兵庫県社会的養護推進計画に基づいた社会的養護の在り方を視野に入れながら、指定管理者と市で適切に情報共有等を行い、良好なパートナーシップを醸成していく。その上で、入所児童の満足度の向上を目指して、日々の関わりをより丁寧に行いながら、施設の適正な運営に取り組んでいく。入所児童の年齢構成の変化、成育歴の多様化等へ対応するための施設の機能及び定員の見直しについては、双方で協議を重ねて進めていく。また、令和8年度に予定されている尼崎市の児童相談所と一時保護所の設置・運営は関連する事項について双方協力して進めていく。

有効性

効率性

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立美方高原自然の家	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課
施設住所	兵庫県美方郡香美町小代区新屋1432-35	竣工	H8.4(築満26年)
設置目的	豊かな自然の中で野外活動及び集団活動を通じて青少年の健全な育成を図るとともに、市民に自然と親しむレクリエーション活動の場を提供することにより、自然への理解を促し、余暇の活用を図る。		
主な事業内容	自然学校に関する事業、野外活動の場の提供・指導、野外活動指導者及び青少年団体指導者の研修		
指定管理者名	公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
指定事業及び自主事業の実施にあたっては、協定書の規定を遵守し、事業を履行するとともに利用者のニーズを把握し、市民等の参画を促し事業を実施していく。
実施結果
市内の小中学校の自然学校を受け入れ、児童が集団生活の中で人や自然に触れ合う機会を提供するとともに施設の利用者に野外活動で自然体験の場を提供するプログラムを実施した。(指標①)
(参考)有効性に関する指標の設定及びその状況

有効性	指標①：施設の利用者満足度																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>83.7%</td> <td>79.5%</td> <td>84.6%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>100%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%	実績	-	-	-	-	83.7%	79.5%	84.6%					達成度	-	-	-	-	-	-	100%					評価	-	-	-	-	-	-	○			
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																	
目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%																																																	
実績	-	-	-	-	83.7%	79.5%	84.6%																																																					
達成度	-	-	-	-	-	-	100%																																																					
評価	-	-	-	-	-	-	○																																																					
有効性	指標②：利用者アンケートにおける自然への理解に「4」以上を回答した割合(単位:%)																																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> <td>85%</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>98.2%</td> <td>85.8%</td> <td>88.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>104%</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>評価</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%	実績	-	-	-	-	98.2%	85.8%	88.4%					達成度	-	-	-	-	-	-	104%					評価	-	-	-	-	-	-	○			
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8																																																	
目標	-	-	-	-	-	-	85%	85%	85%	85%	85%																																																	
実績	-	-	-	-	98.2%	85.8%	88.4%																																																					
達成度	-	-	-	-	-	-	104%																																																					
評価	-	-	-	-	-	-	○																																																					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

有効性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか
	<p>今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)</p> <p>施設の保守管理に努めるとともに利用率向上への取り組み、利用者に対する接遇サービスの維持・向上に努める。</p> <p>実施結果及び評価</p> <p>施設の保守管理については、法令等に従い実施するとともに経費削減に努めた。また、タブレットの貸し出しやタブレットを利用した野外活動の提供など、利用率向上への取り組みを行った。接遇研修を行い、サービスの向上に努めた。</p>
効率性	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)
	<p>②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか</p> <p>今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)</p> <p>施設の二酸化炭素排出量の削減に努める。</p> <p>実施結果及び評価</p> <p>施設の照明機器や電球をLED化するとともに、高圧受電設備のデマンド監視を行うことで、電気代の削減に努めた。また、適切なごみの分別を利用者が行う仕組みを作り、エネルギーロスの最小化する取り組みを行っており、持続可能な社会形成における環境課題の取り組みとして、利用者が3R(リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)、リサイクル(Recycle))を体験する取り組みももっている。</p>

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとは言いえない、×環境への配慮が不足している

(参考)経費の状況(単位:円)

収入			支出		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
指定管理料	140,830,000	140,830,000	人件費	76,345,000	66,911,879
電気代補助		595,000	事業費		
その他		169,690	施設維持管理運営費	64,485,000	74,292,034
収入計	140,830,000	141,594,690	支出計	140,830,000	141,203,913
					-373,312

○

○

○

○

○

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針や事業内容の充実等、施設の効用を最大限に発揮できる提案となっているか。 施設運営面で施設管理体制や人的能力等、施設の管理を安定して行う能力を有しているか。
指定管理者自身が設定した目標	<p>利用者アンケート回答における「大変良い」「良い」の回答率を向上させる。</p> <p>1「青少年の気づき、学びを促進します。」については、達成目標値85%</p> <p>2「自然環境への興味関心を育みます。」については、達成目標値85%</p> <p>3「地域を生かした人と文化の交流の場を創造します。」については、達成目標値80%</p> <p>4「安心安全で多様性を尊重した施設づくり」については、達成目標値85%</p> <p>5「自然を生かした未来志向の教育を推進します。」については、達成目標値85%</p>

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	尼崎市立美方高原自然の家をより有効かつ効率よく、一人でも多くに方々に利用していただき、市民の青少年育成と余暇活用の促進を図る。					
指標	利用者アンケートにおける運営について「4」以上を回答した割合(単位:%)					
指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
目標値	85.00	85.00	85.00	85.00	85.00	積極的に取組を展開しているが、目標達成には至らなかった。
実績値	84.50					

法令遵守	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
適正性	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
危機管理	事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
履行状況	提案時及び年度当初の計画等とおりに業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画とおりに業務が遂行されたか	適正
	選定時の提案内容が実施されているか	適正
	業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築	1月10日ZOOMミーティングで意見交換を行う等、適時の報告・連絡・相談を互いに密にし、信頼関係が深まった。
--------	--

協働の状況	グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況
	施設の修繕については、協定書で定めた範囲内ものは指定管理者が行っているところであるが、食器洗浄機は大規模修繕が必要であったため、所管課の予算で設置した。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)	<p>【成果】</p> <p>IT機器活用の野外活動の開発と提供を行い、文部科学省のガイドブックで紹介され、日本キャンプ協会キャンプミーティングにおける研究発表でMIP賞を受賞した。</p> <p>自然学校利用における利用者アンケートの「自然、大変良い」は90%を超える評価である。</p> <p>【課題】</p> <p>キャンプ場利用が非常に低調である。キャンプ場の魅力をさらに高める開発をし、SNS等で積極的に発信する。コロナ禍において、クラスター対策のため定員の半数を推奨し、自然学校も2泊3日の短縮日程で行うこともあり、利用人数が例年の6割程度である。利用促進をはかる魅力ある活動の展開はしているが、さらなる魅力開発を並行して行っていく。</p> <p>食事メニューの評価を向上させる必要があるため、地元学校の管理栄養士監修のメニューを作成し、改善する。</p> <p>【市への提案】</p> <p>生活保護世帯への体験活動を提供し、貧困の連鎖を減少させるなどの貢献も可能である。</p> <p>CO2排出抑制やゼロカーボン施設の設備計画など環境配慮を視野とした改修のための協議も必要と考えている。</p>
---	---

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)	<p>施設運営の指標における年度目標はわずかに達成できなかったが、利用者の満足度は高く良好に遂行されている。また、施設目標の達成に向けて、各事業を実施することができており、今後も関係性を強化しながら利用者サービスの向上を図る。</p>
---	---

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)	<p>コロナ禍で利用者が減少してはいるが、指定管理者は利用促進に向けた広報活動を行い、市民が参画できるような事業を増やす。また、施設の老朽化による大規模修繕については、修繕計画を市と指定管理者で十分な意見交換を行い円滑に進めていく。</p>
--	--

○

○

○

○

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立青少年いこいの家	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課
施設住所	兵庫県川辺郡猪名川町万善寺東山6番地の1	竣工	S40.12(築満57年)
設置目的	野外活動及び集団生活を通じて健全な青少年の育成と福祉の増進		
主な事業内容	野外活動・集団生活、指導者の訓練・研修、集会・レクリエーションの場の提供、野外活動等の指導等		
指定管理者名	尼崎市スポーツ振興事業団・イオンデライト共同体	指定期間	自 R4.4.1 至 R6.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)
 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 指定事業・自主事業の実施にあたっては協定書その他の規定を遵守し、確実に履行するとともに、利用者のニーズを把握し、事業の改善や新たな取組に生かす。

実施結果
 流しそうめんやじゃがいも・大根等の収穫体験など、環境を生かした野外活動プログラムを実施した。(指標①)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにおけるプログラム内容の質問について、「満足」以上で回答した利用者の割合(%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	95%	95%	95%			
実績	99%	92%	99%	96%	98%	99%	99%				
達成度	-	-	-	-	-	104%	104%				
評価	-	-	-	-	-	◎	◎				

指標②：利用者アンケートにおける施設内の安全性の質問について、「満足」以上で回答した利用者の割合(%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	95%	95%	95%			
実績	97%	88%	98%	96%	98%	99%	99%				
達成度	-	-	-	-	-	104%	104%				
評価	-	-	-	-	-	◎	◎				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 施設の保守、破損等の修繕を適正に実施するとともに、利用者に対する接遇やサービスの維持・向上を目指す。
実施結果及び評価
 法令に従い、施設の保守・保全・点検を適正に実施するとともに経費の削減に努めた。また、利用者満足度を高めるため接遇研修を実施するなど利用者サービスの向上と施設のイメージアップに努めた。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 事務事業から発生する二酸化炭素削減に向けて、職員等不在箇所の電気の消灯やペーパーレス化の推進に取り組むとともに資源の分別、リサイクルに加え、イベント事業では野外料理での食品ロスの削減や薪・炭の使用を制限し火の取り扱い時間を最小限に抑えるなどに取組む。

実施結果及び評価

貸館施設として利用者にとって不便をかけない範囲内で最大限、不要な電気の消灯に取り組むとともに、WEB会議による資料のペーパーレス化など省エネ行動を心掛けた。また、ごみの分別を徹底するとともに、廃棄の際も個人情報を含む機密書類が混ざっていないか適宜再チェックを行った。イベント事業実施の際は省エネや食品ロスにつながるプログラムを立案し、環境問題として参加者にも考えていただき協力を得ながら進化した。
 ◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	28,653,000	28,653,000	0	人件費	22,075,000	23,871,000	-1,796,000
補助金(市)		18,000	-18,000	事業費	0	0	0
その他収入		2,000	-2,000	施設維持管理運営費	5,068,000	4,843,000	225,000
				その他	3,100,000	3,297,000	-197,000
収入計	28,653,000	28,673,000	-20,000	支出計	30,243,000	32,011,000	-1,768,000

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	<ul style="list-style-type: none"> 施設運営にあたっての基本方針や事業内容において、施設の機能を十分に活用した提案がなされているか、 施設の再整備にあたり、市の動きと連携を取りながら、再整備後の新たな施設へのつなぎ役を担えるか。
指定管理者自身が設定した目標	<ul style="list-style-type: none"> 施設の再整備を控える中、引き続き本施設の設置目的が最大限発揮できるよう市と協働してより良い施設づくりに努める。 年間9,300人の施設利用者数を目標とする。(令和3年度実績8,496人の10%アップ) 年間1,800人のイベント事業参加人数を目標とする。(令和3年度実績1,644人の10%アップ)

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年の自然や生命への畏怖の念を育て、自然と調和して生きていくことの大切さを理解するとともに、他者への思いやりや共に生きていくことの大切さなどの社会性を育む野外活動施設を目指す。				
目標指標	指標	利用者アンケートにおける満足度の質問で、「良い」以上で回答した利用者の割合(%)			
	指定期間	-	-	-	達成状況の評価
	目標値	-	-	-	95.00 95.00
	実績値	-	-	-	96.94

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	要改善
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理—事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況—提案時及び年度当初の計画等とおりに業務を行ったか		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。
協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 令和8年度のリニューアルオープンに向け、指定管理者の協力を得ながら業務を進めているところである。今年度は、令和6年度から工事を行うため、市のイメージを基に、実務を担っている指定管理者の意見を反映しながら再整備後の設備などについて一定の整理を行った。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

令和2年度からのコロナ禍以降、減少した利用人数からは回復傾向にあるものの、コロナ前の令和元年度実績までには達していない。今後も利用者確保に向け、基本的な感染対策は継続しつつ、広報の強化や利用者ニーズの把握に努めながら、積極的な野外活動の支援に取り組むことにより、リピーター確保や口コミによる新規利用者の獲得につなげる。また、施設維持管理については、利用者の安全・安心を確保するための対応を最優先に取り組むとともに、設備・備品の故障や破損箇所については早期発見、早期対応により、快適な施設利用ができるよう職員全員で取り組む。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

令和8年度のリニューアルオープンに向けて、施設の解体・新設工事を行うための下準備(産業廃棄物の処理など)や再整備後の運営方法(利用料金や施設予約方法の検討など)が固まっていない状態である。引き続き、指定管理者と連携しながら事務を進めていきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

指定管理者は、指定業務を履行する中において疑義事項や定めのない事項が生じた時は、速やかに市と協議するとともに、市も指定管理者の立場を踏まえつつ法令規則に基づき適切に対処する。また、新たな取り決めや見直しを行う際には、市と指定管理者双方が意見を出し合いながら円滑に進めていくよう配慮する。

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立城内青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課
施設住所	尼崎市南城内7番地2号	竣工	H8.12(築滿26年)
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。		
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供		
指定管理者名	尼崎市剣道連盟	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施) 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を23団体に増加するように努める。 実施結果 道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てており、利用者の満足度は高く、指標①の目標は大きく上回って達成しているが、登録団体数は増えず、指標②目標の達成に至ら (参考)有効性に関する指標の設定及びその状況												
指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合(単位:%)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	60	60	60	60	60	
実績	-	-	-	-	-	-	76					
達成度	-	-	-	-	-	-	127%					
評価	-	-	-	-	-	-	◎					
指標②：青少年体育道場に登録している団体数(単位:団体)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	12	12	12	12	12	
実績	-	-	-	-	10	10	9					
達成度	-	-	-	-	-	-	75%					
評価	-	-	-	-	-	-	△					

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価 道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立っている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境を保っている。 mata, ②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 物品を購入する際には、環境に適した物品(グリーン購入)の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めていく。 実施結果及び評価 グリーン購入の物品を購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。	○
--	---

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入			支出		
項目	予算額	決算額	項目	予算額	決算額
指定管理料	554,000	554,000	人件費		
			事業費		
			施設維持管理運営費	554,000	554,000
			その他		
収入計	554,000	554,000	支出計	554,000	554,000

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について(指針)」に基づき公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を12団体に増加するように努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。					
目標指標	指標	城内青少年体育道場の登録団体				
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8
	目標値	12	12	12	12	12
	実績値	9				
	達成状況の評価	コロナ禍で活動団体が減少しており、目標達成には至らなかった。				

法令遵守

施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	-
公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正

施設の経営状況

収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
指定管理者自身の経営状況は健全か	適正

危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか

災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正

履行状況-提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行なったか

年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	適正
選定時の提案内容が実施されているか	適正
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正

関係性の構築

適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。
協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、施設内の樹木等の伐採は所管課で応急措置として対応を行った。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

利用者アンケートにおいて、施設修繕の要望が多く大規模のものについては、市と情報共有しながら対応していきたい。また、施設内の樹木等の伐採について、喫緊の課題として対応を検討していきたい。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

施設の指標における年度目標は達成できなかったが、コロナ禍で活動を見合わせている団体もあるなかで指定管理業務は適正に遂行されている。年度目標を達成できるよう、幅広い機会をとらえて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

喫緊の課題である施設内の樹木等の伐採は、年度内に予算を確保したうえで所管課で対応することとし、大規模な修繕が必要なものについては、指定管理者と協議を行い予算計上を目指し、財政当局と調整していく。また、軽微な修繕については、指定管理者で行っていくこととする。

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立立花青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課
施設住所	尼崎市立花町3丁目10-15	竣工	H9.11(築滿25年)
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。		
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供		
指定管理者名	尼崎市スポーツ少年団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施) 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を23団体に増加するように努める。 実施結果 道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てており、利用者の満足度は高く、指標①の目標は大きく上回って達成しているが、登録団体数は増えず、指標②目標の達成に至ら												
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況												
	指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合(単位:%)												
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	目標	-	-	-	-	-	-	60	60	60	60	60	
	実績	-	-	-	-	-	-	79					
	達成度	-	-	-	-	-	-	132%					
	評価	-	-	-	-	-	-	◎					
	指標②：青少年体育道場に登録している団体数(単位:団体)												
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
目標	-	-	-	-	-	-	17	17	17	17	17		
実績	-	-	-	-	15	15	16						
達成度	-	-	-	-	-	-	94%						
評価	-	-	-	-	-	-	△						

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。 実施結果及び評価 道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境を保れている。												
	市民サービスが ◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)												
	②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 物品を購入する際には、環境に適した物品(グリーン購入)の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めている。 実施結果及び評価 グリーン購入の物品を購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。												
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している												
	(参考) 経費の状況(単位:円)												
	収入				支出								
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引					
	指定管理料	597,000	597,000	0	人件費			0					
					事業費			0					
					施設維持管理運営費	597,000	509,077	87,923					
				その他			0						
収入計	597,000	597,000	0	支出計	597,000	509,077	87,923						

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について(指針)」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を17団体に増加するように努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。						
目標指標	指標	立花青少年体育道場の登録団体					
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8	達成状況の評価
	目標値	17	17	17	17	17	コロナ禍で活動団体が減少しており、目標達成には至らなかった。
	実績値	16					

適正性	法令遵守 施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか 適正 貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか - 公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか 適正 個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか 適正 公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか 適正 施設の経営状況 収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか 適正 指定管理者自身の経営状況は健全か 適正 危機管理-事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか 災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか 適正 災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか 適正 災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか 適正 履行状況-提案時及び年度当初の計画等とおりに業務を行ったか 年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか 要改善 選定時の提案内容が実施されているか 適正 業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか 適正												
	関係性の構築 適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。 協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況) 施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、利用者による自主的に管理等をすることで経費の削減に効果が現れている。今後も指定管理者と意見交換を行い施設管理業務を行っていく。												
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括) 利用者に対して利用予定等を調整し、多くの団体に活動の場を提供することができたが、登録団体の増にはいたっていない。施設については、利用者が利用後等に清掃を行っており、良好な施設で利用環境が保っている。現在、ホームページでの広報活動ができていない状態であるため、スポーツ少年団の本部と協議し対応することとする。												
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括) 施設の指標における年度目標は達成できなかったが、コロナ禍で活動を見合わせている団体もあるなかで指定管理業務は遂行されている。しかし、選定時の事業計画書に「スポーツ少年団のホームページを通じて利用促進に向けた広報を行う」とあるがホームページは存在せず、遂行できていない状態である。指定管理者には早急に対応するよう求める。また、年度目標を達成できるよう、幅広い機会を捉えて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。												
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載) 施設管理業務については、利用者による清掃等を継続し、施設の利用環境を保つとともに施設の適切な維持管理に努めていく。現在、遂行できていない業務については、早急に対応し、施設の利用促進につなげること。												

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立園田青少年体育道場	施設所管課	こども青少年局 こども青少年課
施設住所	尼崎市東園田町8丁目111番地の8	竣工	S56.3(築満41年)
設置目的	体育を通じて心身ともに健全にして社会性に富んだ青少年の育成を図る。		
主な事業内容	空手、剣道その他一般体育及びレクリエーション活動のための場の提供		
指定管理者名	尼崎市スポーツ少年団	指定期間	自 R4.4.1 至 R9.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	B(指定管理者の役割が、施設維持管理等に係るものが主である施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施)

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 外観、器具、運営等に関する利用者アンケートで良い以上の評価を6割以上取得し、登録団体を23団体に増加するように努める。

実施結果
 道場の活用を通じて、青少年等と多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てているが、目標の達成に至らなかった。(指標①②)

(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況

指標①：利用者アンケートにて良い以上の評価の割合(単位:%)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	60	60	60	60	60
実績	-	-	-	-	-	-	59				
達成度	-	-	-	-	-	-	98%				
評価	-	-	-	-	-	-	△				
指標②：青少年体育道場に登録している団体数(単位:団体)											
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
目標	-	-	-	-	-	-	23	23	23	23	23
実績	-	-	-	-	22	21	19				
達成度	-	-	-	-	-	-	83%				
評価	-	-	-	-	-	-	△				

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 道場における活動を通じ、青少年の健全育成を推進するとともに常に道場の整理整頓を心がける等、建物の環境整備に努め、利用者が快適に利用できる環境を提供する。

実施結果及び評価
 道場の活用を通じて、青少年等の多世代が交流する場として、地域コミュニティの醸成にも役立てている。また、施設の整理整頓を常に心がけると共に利用者による日常的な清掃等により、施設の保全に万全の注意を払って管理を行ったことで良好な利用環境を保っている。 ○

市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)

②効率性と環境に配慮した施設管理とを両立できているか

今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定)
 物品を購入する際には、環境に適した物品(グリーン購入)の購入を検討するとともに不要な電気の消灯等に努めている。

実施結果及び評価
 グリーン購入の物品を購入を行うとともに不要な電気の消灯に努めている。 ○

◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているともまではいえない、×環境への配慮が不足している

(参考) 経費の状況(単位:円)

収入				支出			
項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引
指定管理料	500,000	500,000	0	人件費			0
				事業費			0
				施設維持管理運営費	500,000	411,849	88,151
				その他			0
収入計	500,000	500,000	0	支出計	500,000	411,849	88,151

有効性

効率性

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	利用者自身による管理を行うことで管理経費の縮減等が見込め、青少年の体育実技の指導においても幅広い知識や経験、ノウハウが欠かせないことから「指定管理者制度について(指針)」に基づき非公募で指定管理者を選定している。
指定管理者自身が設定した目標	青少年体育道場の登録団体を23団体に増加するように努める。

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	青少年が、柔道、剣道、その他一般体育及びレクリエーション活動を通じて、快適に利用できる環境を提供する。					
目標指標	指標	園田青少年体育道場の登録団体				
	指定期間	R4	R5	R6	R7	R8
	目標値	23	23	23	23	23
	実績値	19				
達成状況の評価						コロナ禍で活動団体が減少しており、目標達成には至らなかった。

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	-
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理－事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
	災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正
	災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正
	災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正
	履行状況－提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行ったか	
	年度事業計画書における計画どおり業務が遂行されたか	要改善
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

関係性の構築
 適時の報告・連絡・相談を互いに密にすることで、信頼関係が深まった。

協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)
 施設の運営については、指定管理者の協力を得ながら行っているところであるが、利用者による自主的に管理等を行うことで経費の縮減に効果が現れている。今後も市と指定管理者で意見交換を行い施設管理業務を行っていく。

指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)

利用者に対して利用予定等を調整し、多くの団体に活動の場を提供することができたが、登録団体の増にはいたっていない。施設については、利用者が利用後等に清掃を行っており、良好な施設で利用環境が保っている。現在、ホームページで広報活動ができていない状態であるため、スポーツ少年団の本部と協議し対応することとする。

市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)

施設の指標における年度目標は達成できなかったが、コロナ禍で活動を見合わせている団体もあるなかで指定管理業務は遂行されている。しかし、選定時の事業計画書に「スポーツ少年団のホームページを通じて利用促進に向けた広報を行う」とあるがホームページは存在せず、遂行できていない状態である。指定管理者には早急に対応するよう求める。また、年度目標を達成できるよう、幅広い機会をとりえて広く広報活動を行い利用促進に努めていただきたい。

双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載)

施設管理業務については、利用者による清掃等を継続し、施設の利用環境を保つとともに施設の適切な維持管理に努めていく。現在、遂行できていない業務については、早急に対応し、施設の利用促進につなげること。

パートナーシップ

令和5年度 指定管理者制度モニタリング評価表(令和4年度末時点)

1 施設概要

(1) 基本的事項

施設名	尼崎市立ユース交流センター	施設所管課	子ども青少年局 子ども青少年課
施設住所	尼崎市若王寺2丁目18番4号	竣工	あまぼーと:昭和55年(築満42年) アマプラリ:昭和52年(築満45年)
設置目的	青少年の健全な育成及び福祉の増進		
主な事業内容	ユースワークの視点に立った青少年の居場所づくり等		
指定管理者名	尼崎ユースコンソーシアム	指定期間	自 R1.10.1 至 R6.3.31

(2) 施設の政策的な特性に係る事項

施設分類	A(施設維持管理に加え、市の政策目的に沿った取組を、市と協働で展開していく施設)
指定管理者に主として期待される事項	<input checked="" type="checkbox"/> 専門的なノウハウを生かした市の施策目的に資する事業実施 <input checked="" type="checkbox"/> 効率的な施設維持管理運営 <input type="checkbox"/> 団体等の担い手としての成長 <input type="checkbox"/> その他()

3 市と指定管理者が年度当初に共有した目標及び達成状況等の評価

有効性	施設目標の達成に向けた取組(指定事業の効果的な実施、自主的な取組の実施) 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 指定事業・自主事業の実施にあたっては協定書その他の規定を遵守し、確実に履行するとともに、利用者のニーズを把握し、ユースワークの視点に立った居場所づくりなどの事業実施や新たな取組に生かす。												
	実施結果 アンケートを実施することで施設運営や事業等に関する利用者ニーズの把握に努めるとともに、青少年自らイベントを企画し、参画する機会を設けた。(指標①、②)												
	(参考) 有効性に関する指標の設定及びその状況												
	指標①：利用者アンケートにおける居心地の良さについて、「やや満足」以上で回答した利用者の割合(単位:%)												
	年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	目標	-	-	-	89%	89%	90%	90%	90%	90%	90%	90%	
	実績	-	-	-	92%	89%	90%	85%					
	達成度	-	-	-	103%	100%	100%	94%					
	評価	-	-	-	○	○	○	△					
	指標②：利用者アンケートにおけるイベント内容について、「やや満足」以上で回答した利用者の割合(単位:%)												
年度	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8		
目標	-	-	-	76%	77%	77%	78%	78%	78%	78%	78%		
実績	-	-	-	58%	68%	66%	68%						
達成度	-	-	-	76%	88%	86%	87%						
評価	-	-	-	△	△	△	△						

◎目標を大きく上回った/上限値に近い実績で推移している、○目標を(概ね)達成した、△目標未達(事情あり)、×目標未達(事情なし)

効率性	①決められた指定管理料内で、市民サービスが維持・向上されているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 施設・設備の必要な修繕について適正に実施するとともに、利用率の向上、利用者に対する接遇やサービスの維持・向上を目指す。																																																																				
	実施結果及び評価 法令に従い、施設の保守・保全・点検を適正に実施した。また、利用者満足度及び専門知識の向上を図るためユースワーク研修を実施するなど利用者サービスの向上と施設のイメージアップに努めた。																																																																				
	市民サービスが、◎大幅に向上した、○維持・向上した、△低下した(特別な事情あり)、×低下した(事情なし)																																																																				
	②効率性及び環境に配慮した施設管理とを両立できているか 今年度の取組方針や目標(前年度末又は指定初年度当初に協議し決定) 事務事業から発生する二酸化炭素削減に向けて、職員等不在箇所の電気の消灯やペーパーレス化の推進に取り組むとともに資源の分別、リサイクルに取り組む。																																																																				
	実施結果及び評価 施設内において最大限、不要な電気の消灯に取り組むとともに、WEB会議による資料のペーパーレス化など省エネ行動を心掛けた。また、ごみの分別を徹底するとともに、廃棄の際も個人情報を含む機密書類が混ざっていないか適宜再チェックを行った。																																																																				
	◎高水準で両立している、○両立している、△両立しているとまではいえない、×環境への配慮が不足している																																																																				
	(参考) 経費の状況(単位:円)																																																																				
	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="4">収入</td> <td colspan="4">支出</td> </tr> <tr> <td>項目</td> <td>予算額</td> <td>決算額</td> <td>差引</td> <td>項目</td> <td>予算額</td> <td>決算額</td> <td>差引</td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td>48,388,000</td> <td>48,388,000</td> <td>0</td> <td>人件費</td> <td>39,139,000</td> <td>39,069,920</td> <td>69,080</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費</td> <td>2,068,000</td> <td>1,774,700</td> <td>293,300</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>施設維持管理運営費</td> <td>115,000</td> <td>117,620</td> <td>-2,620</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>その他</td> <td>7,066,000</td> <td>6,918,329</td> <td>147,671</td> </tr> <tr> <td>収入計</td> <td>48,388,000</td> <td>48,388,000</td> <td>0</td> <td>支出計</td> <td>48,388,000</td> <td>47,880,569</td> <td>507,431</td> </tr> </table>													収入				支出				項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引	指定管理料	48,388,000	48,388,000	0	人件費	39,139,000	39,069,920	69,080					事業費	2,068,000	1,774,700	293,300					施設維持管理運営費	115,000	117,620	-2,620					その他	7,066,000	6,918,329	147,671	収入計	48,388,000	48,388,000	0	支出計	48,388,000	47,880,569	507,431
	収入				支出																																																																
	項目	予算額	決算額	差引	項目	予算額	決算額	差引																																																													
指定管理料	48,388,000	48,388,000	0	人件費	39,139,000	39,069,920	69,080																																																														
				事業費	2,068,000	1,774,700	293,300																																																														
				施設維持管理運営費	115,000	117,620	-2,620																																																														
				その他	7,066,000	6,918,329	147,671																																																														
収入計	48,388,000	48,388,000	0	支出計	48,388,000	47,880,569	507,431																																																														

2 指定期間全体を通じての目標・実績

(1) 指定管理者の選定及び指定に当たって重視された事項(選定委員会での主な意見又は市の意思決定理由)

重視された事項	①常にユースワークの視点で青少年と関わりを持ち、青少年一人ひとりへの理解を深め、受容しながら、青少年一人ひとりが成長できるよう支援をおこなうことができる人員体制、②青少年のニーズに対応した、施設の魅力向上につながるプログラムの提供能力、③十分な施設管理能力
指定管理者自身が設定した目標	ユース交流センターにおいて、「場づくり、人づくり、つながりづくり」を基本コンセプトとして次の3つの基本方針を軸に運営を行う。①中高生がただ集まる場ではなく、一人ひとりの成長と自己実現を追求した施設、②プログラムや運営において、地域住民や学校教員と連携した施設、③不登校やひきこもり、発達障害、非行、家庭での課題など全ての問題に対応する施設

(2) 市と指定管理者の協議によって設定する目標

施設のありたい姿	ユースワークの視点に立った市内の青少年の居場所づくり事業の拡充に取り組み、様々な交流活動を通じて青少年の成長を支援する拠点施設						
目標指標	指標	ユース交流センターの月平均利用者数(単位:人)					
	指定期間	R1	R2	R3	R4	R5	達成状況の評価
	目標値	-	-	5,100	5,100	6,300	R4年度に目標値を超えたことから、R4年度の実績値をもとにR5年度から新たな目標値を設定した。
	実績値	4,825	3,626	4,518	5,844		

適正性	法令遵守	
	施設の管理運営や設備点検、訓練等を適正に行っているか	適正
	貸与備品等について台帳を整備し、適切に管理しているか	適正
	公文書管理条例の趣旨に則り、文書を管理しているか。協議録等、必要な文書を作成しているか	適正
	個人情報保護条例や情報公開に係るルールを遵守しているか	適正
	公共調達基本条例、暴力団排除条例、その他の法令は遵守されているか	適正
	施設の経営状況	
	収支及びその結果報告や変更時の報告・連絡・相談が適切・適正にされているか	適正
	指定管理者自身の経営状況は健全か	適正
	危機管理—事故防止の安全対策や防犯・防災対策が適切にとられているか	
災害時の対応について、市との協議・共有が図られているか	適正	
災害時や緊急時のマニュアルを作成し、定期的に訓練等を行っているか	適正	
災害時や緊急時の対応責任者、責任体制は整備されているか	適正	
履行状況—提案時及び年度当初の計画等のとおり業務を行なったか		
年度事業計画書における計画どおりに業務が遂行されたか	適正	
選定時の提案内容が実施されているか	適正	
業務マニュアルを定めるなど、安定的に履行できるよう取り組んでいるか	適正	

パートナーシップ	関係性の構築	
	市と指定管理者双方が報告・連絡・相談を密に行うよう心掛け、特に国や県など他の自治体、市議会や学校等からの問い合わせが想定される案件については、必要な情報を互いに共有するよう努めた。	
	協働の状況(グループAは協働の相乗効果の視点、グループBはパートナーシップを踏まえた施設管理業務の状況)	
	指定管理者が過去実施していた自主事業の取扱いや指定管理者の管理範囲など、市と指定管理者双方の認識が異なり、事業区分や管理範囲が不明確だった事案については、双方で協議しながら法令に則した是正措置を講じた。また、市が新規事業として子ども・若者を対象にした補助制度を企画するにあたり、事前に指定管理者の助言を求めるなど連携に努め、ユースワークの推進に有効な制度設計とするための参考にした。	
	指定管理者の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた市への提案事項(総括)	
	利用者数が増える一方で課題を抱える利用者も多くなり、子ども青少年課だけではなく、子どもの育ち支援センターや学校など様々な機関との連携も増えてきている。また、ユースカウンスル事業など若者の社会参画につながる事業も活発化してきている。市として青少年向けに様々な事業を実施しているが、ユースワーク推進に向けて、ビジョンを共有し、今後より連携しながら事業展開を行ってきたい。	
	市の考える成果と課題及びより良い施設維持管理に向けた指定管理者への提案事項(総括)	
	利用者アンケートによる指標の一部に年度目標を達成できなかったものもあるが、ユースワークの視点を取り入れた居場所づくりや各種イベントの参加者は着実に増加しており、利用者の広がりとともに中高生の認知度は高まっている。	
	双方の総括を踏まえた協議の結果及び今後の取組の方向性(単年度及び指定期間中の目標を踏まえて記載) 若者を支援し気軽に相談ができる機会や場を増やすため、引き続きユースワーカーの養成や人材育成に取り組むとともに、関係機関と連携し、悩みを抱えた若者の支援に取り組んでいく。	